

外科処置,あるいは歯肉膿瘍や歯槽膿瘍などの炎症性の歯科疾患と関連のあることが指摘されている。また,ステロイド療法や糖尿病などもONJ発症の全身的な危険因子と考えられている。

ONJの症状は,疼痛,顎骨周囲軟組織の腫脹,骨露出などで,病状の進行に伴い骨露出範囲が広がる。現在,BPの治療法にはまだ明確な指針がないが,抗菌薬投与や限局的な壊死組織の除去など,可及的に保存的な治療が推奨されている。また,BPによるONJの予防には,投与開始前の歯科検診と,抜歯などの観血処置が必要な場合はBP投与前にその処置を終了しておくことが勧められている。さらに,BP投与を受けている患者では,3か月ごとの口腔内健診,毎日の口腔洗浄と0.12%グルコン酸クロルヘキシジンによる含嗽の実施が推奨されている。抜歯はできるだけ避けるべきで,抜歯を要する場合は3か月程度,BPを休薬することが提唱されている。

当科で経験した,経口BPと静注BPによるONJの症例各1例も提示した。

## 一般演題

### 演題1. テキストマイニングを用いた定期健診受診者の心理分析

○杉浦 剛, 相澤 文恵, 岸 光男,  
阿部 晶子, 稲葉 大輔, 米満 正美

岩手医科大学歯学部予防歯科学講座

目的: テキストマイニングはテキストデータをさまざまな計量的方法によって分析し,役に立ちそうな知識・情報を取り出す手法であり,人間の行動,態度,心理,価値観などを理解するための新しい手法として社会調査などに応用されている。本研究ではテキストマイニングの手法を用いて定期健診に対する受診者の感想の分析を試みた。

対象および方法: 2007年3~5月,岩手医科大学附属病院予防歯科外来にて定期健診を受診した59名を対象に質問紙調査を行った。質問内容は性別,年齢,定期健診の継続期間,定期健診の感想,定期健診に対する満足度であった。定期健診の感想は自由回答形式とし,満足度は「まったく満足していない」を0点,「非常に満足している」を10点としたSD法の尺度を用いた。得られた結果の解析は統計解析ソフトSPSS12.0J, Clementine10.1およびText Mining for Clemen-

tine2.2Jを用いて行った。

結果: 受診者は男性30%,女性70%,年齢層は10代,30代,50代が多く,2年以上定期健診を継続している者が53%であった。定期健診に対する満足度は平均9.2と高い値を示した。性別,年齢,定期健診の継続期間と満足度との相関はみられなかった。テキストマイニングの結果,出現頻度の高いものとして「歯」「定期健診」「安心」「思う」「よい」「とても」「歯ぐき」などのキーワードが抽出され,これらの単語は同時に出現する確率も高かった。

考察: 出現頻度の高い単語どうしの組み合わせから,受診者は定期健診に対して,「歯と歯ぐきにとってもよいと思う」「定期健診によって歯(の状態)に安心する」という文章が再構築された。一方,満足度に影響を与える要因は抽出されなかったがこれは満足度のスコアが高い範囲に集中したことによると考えられた。今後,調査対象ならびに調査項目を増やしてデータを蓄積し,より客観的な要因分析を行う必要があることが示唆された。

### 演題2. 国民健康保険診療施設歯科診療所を研修協力施設とした地域医療およびへき地医療研修

○工藤 義之<sup>1)</sup>, 岸 光男<sup>1)</sup>, 熊谷 啓二<sup>1)</sup>,  
中村 弥栄子<sup>1)</sup>, 柳谷 隆仁<sup>1)</sup>, 遠藤 憲行<sup>1)</sup>,  
金村 清孝<sup>1)</sup>, 古屋 純一<sup>2)</sup>, 齋藤 亮<sup>1)</sup>,  
浅川 麻美<sup>1)</sup>, 八木 實<sup>1)</sup>, 佐藤 健一<sup>1)</sup>,  
大平 千之<sup>1)</sup>, 岡田 伸男<sup>1)</sup>, 柴崎 信<sup>1)</sup>,  
星野 正行<sup>1)</sup>, 高谷 直伸<sup>1)</sup>, 古川 良俊<sup>1)</sup>,  
織田 展輔<sup>1)</sup>, 浅野 明子<sup>1)</sup>, 大久保卓也<sup>1)</sup>,  
野村 太郎<sup>1)</sup>, 瀬川 清<sup>1)</sup>, 清水 潤<sup>3)</sup>,  
藤原 秀世<sup>4)</sup>, 三浦 廣行<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>岩手医科大学歯学部総合歯科臨床教育センター

<sup>2)</sup>岩手医科大学歯学部歯科補綴学第一講座

<sup>3)</sup>奥州市国民健康保険まごころ病院歯科口腔外科

<sup>4)</sup>普代村国民健康保険歯科診療所

目的: すべての研修歯科医が訪問診療,地域歯科保健活動を含む地域医療の修得およびへき地における歯科医療の経験を目的として,平成18年度本学歯科医療センターの臨床研修プログラムでは国民健康保険診療施設歯科診療所9施設において研修協力施設研修を実施した。本研修の分析と改善点の抽出を目的とした。